

講師 ^{イシダ}石田 ^{チヒロ}千尋 (本学文学部教授) 他

時間 13:30～15:30

受講定員 100人

🕒 スケジュール

①	10月 1日 ±	彩文土器から古代南アジアの社会を探る —彩文の意味と文化交流— 本学文学部准教授 ^{シユウダイ} 宗基 ^{ヒデアキ} 秀明
②	10月 8日 ±	関東徳政と鎌倉の都市整備 —飢饉・式目・築港— 本学文学部教授 ^{イトウ} 伊藤 ^{マサヨシ} 正義
③	10月15日 ±	禅の生活方法—先人が残した生きる指針— 本学文学部准教授 ^{シモムロ} 下室 ^{カクドウ} 寛道
④	10月22日 ±	明治横浜輸出品について—真葛焼と芝山細工— 本学文学部教授 ^{カトウ} 加藤 ^{ヒロシ} 寛
⑤	10月29日 ±	万葉仮名の世界 本学文学部教授 ^{コバヤシ} 小林 ^{キョウジ} 恭治
⑥	11月12日 ±	絵画における真実と事実—美術作品分析の一側面— 本学文学部教授 ^{イワハシ} 岩橋 ^{ハルキ} 春樹
⑦	11月19日 ±	鎌倉に集う中世のやきもの —歴史学と考古学をあわせて鎌倉生活を描く— 本学文学部教授 ^{カワノ} 河野 ^{シンヂロウ} 真知郎
⑧	11月26日 ±	保存科学からみた文化財 本学文学部専任講師 ^{ホシノ} 星野 ^{レイコ} 玲子
⑨	12月 3日 ±	紙文化財の保存修理と救出 東京大学史料編纂所所員・本学文学部講師 ^{ヤマグチ} 山口 ^{サトシ} 悟史
⑩	12月10日 ±	歴史資料と歴史をみる眼 本学文学部教授 ^{イシダ} 石田 ^{チヒロ} 千尋

受講料 7,000円 (ただし、部分受講の場合は1回につき1,000円)

※部分受講の場合は、「セミナー応募ハガキ」の備考欄に受講希望日をご記入ください。

■テキスト：受講要項などを配付します。

📖 講座内容

文化財学は、歴史学・考古学・美術工芸史学・分析保存科学など、幅広い分野にまたがるものです。そのため、その研究方法も一様ではありません。

今回は、先人の残した伝統の美と技を皆様と共に広く深く読み解いていくための方法に重点をおいて学んでいきたいと思えます。文化財の魅力や、文化財学科というユニークな学科の個性あふれる教授陣が、それぞれの専門分野の興味深い話題を一つずつ取り上げ、史料や図解をまじえながら講義をおこなっていきます。

〈横浜市民大学講座とは〉

横浜市民大学講座とは、本学の特色を活かして教育研究の成果を還元することを目的に、昭和56年度から毎年開講しています。当初は横浜市教育委員会との共催でしたが、平成16年度からは横浜市教育委員会の後援となりました。今年度は本学文学部文化財学科の教員がオムニバス形式で担当します。

〈鶴見大学文学部文化財学科〉

文化財学は、歴史学・考古学・美術工芸史学・分析保存科学など、幅広い分野にまたがるものです。本学文化財学科は、それらの文化財について「実物・実地・実体験主義」で総合的に学び、日本の伝統を受け継ぎ将来に伝えていくことを目指す学科です。